

美術館整備計画について

1 目的

町立湯河原美術館は既存旅館を改修した建物のため、施設の老朽化に伴って雨漏り、慢性的な湿気等が発生しています。また、収蔵庫のスペースの不足などの課題もあり、作品に与える影響が懸念されます。このため早急な対策が必要であり、施設の整備を検討するものです。

2 経緯

平成 10 年 旧天野屋旅館建物改修工事
平成 10 年 10 月 1 日 湯河原ゆかりの美術館オープン
平成 14 年 町が天野屋本館土地建物取得
平成 18 年 10 月 1 日 平松礼二館開館、町立湯河原美術館に館名変更
平成 20 年 庭園整備工事
平成 25 年 A 棟屋根雨漏り改修工事

3 計画の概要

(1) 屋上防水工事

C 棟屋上の防水機能が低下しているため、階下にある展示室、収蔵庫への影響が懸念されるため、防水工事を行うものです。

(2) 収蔵庫増築

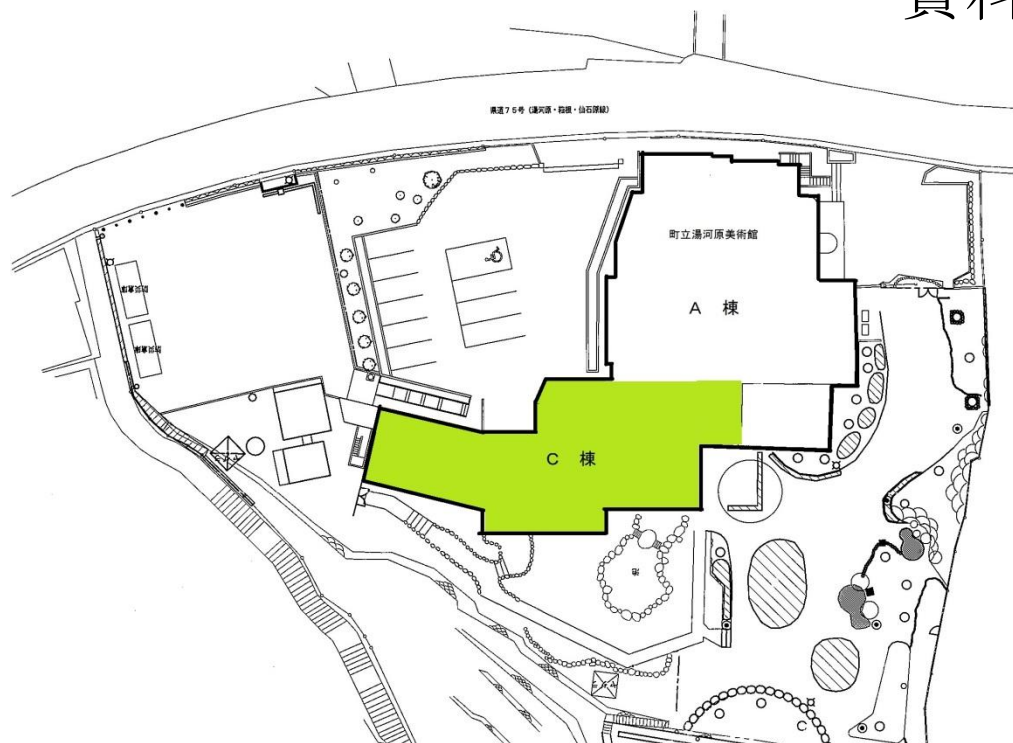
平松礼二画伯からの作品寄贈により、収蔵スペースの不足が課題となっているため、C 棟上階の空きスペースを活用し、収蔵スペースを増築するものです。

4 美術館の新規事業について

今後の美術館事業として、平松画伯から湯河原を題材にした「湯河原八景（仮）」を描く構想があり、その制作現場（アトリエ）を町立湯河原美術館内に設け、公開したいとの提案がされています。

公的美術館の中に公開のアトリエを設けることは、非常に珍しく貴重なものと思われます。子供たちの情操教育や町民の生涯学習への新しい取り組みとして貴重な提案であり、また、観光資源としても魅力的な事業でありますので、併せて検討していきたいと考えております。

位置図



C棟屋上



収蔵庫

